





二ゴロブナで漬けた鮒寿司、山では山菜や永源寺こんにやくなどが有名です。  
**喜多** 食材は多種多様で、この地域の魅力だと思えます。きれいな良い水がないと何もできないわけですから、本当にありがたい。  
 そして、多種多様な素材を加工して料理にする技術が素晴らしい。料理屋さんをはじめ家庭でも旬の素材を生かして美味しい料理にする技術は魅力です。四季折々の旬の食材を生かした料理を来訪者や観光客の皆さんにぜひ味わっていただきたいと思えます。



近江米、地酒、近江牛と旬の食材を生かす技も魅力

**岡崎** 地域に根ざした食文化について、市として食への取組は何かお考えでしょうか。

**市長** 鈴鹿山脈を水源として流れ出る愛知川や日野川の伏流水で育まれた「水」というのが一つの鍵です。食文化のなかで誇れるものは、その水が育てた近江米と喜多さんの専門でもある地酒、そして近江牛です。

近江牛といえば、大中町の若手農家さんが一昨年の第62回近畿東海北陸連合肉牛共進会でチャンピオンになりました。神戸牛と松阪牛を抑えて近江牛がチャンピオンになったことはもっとPRすべきですね。ほかに、湖や川では琵琶湖の固有種として価値のあるホンモロコや



▲品評会で最優秀賞に輝いた田井中さん  
 近畿東海北陸連合肉牛共進会で、大中町の畜産農家である田井中龍亮さんが出品した和牛が最優秀賞に輝きました。写真は市長に報告するご子息の龍史さんと美香子さん夫妻。

皆さんも観光に関わる事業をたくさん行っておられます。多くの団体が連携しながら、ともに同じ方向性をもって東近江市の魅力を外向けにアピールできる機会があればと思えます。例えば「東近江市まるごとin東京」として、本市の良さを東京で市長がトップセールスを行うとか。波及効果で本市にいろんな形で還元されればいいですね。夢やロマンを持ちながら、一方でそろばん勘定もしっかりしておかなければいけません。観光政策にはお金もかかりますし、われわれ自身も努力していかなければと思っています。

もう1点、この地域には素晴らしい素材がいっぱいあるということ。子どもたちにも知ってもらい、伝統的な食材を味わってもらいたいと思えます。この食育が将来の観光につながると思っています。

琵琶湖から鈴鹿山脈を越えて伊勢湾までの広域観光へ

**岡崎** 石樽トンネルが開通して交通量が増え、たくさんの方が道の駅永源寺溪流の里を訪れていると伺っています。県域を越えた観光振興について、市としての具体的な取組は何かお考えでしょうか。

**市長** 広域観光という切り口では、琵琶湖から鈴鹿山脈を越えて伊勢湾までという計画も持つっており、隣接する三重県いなべ市から三重県全体まで交流を深めていきたいです。3年前から鈴鹿山麓無限∞会議というものを開催しています。滋賀県側は東近江市、蒲生郡日野町、甲賀市、三重県側はいなべ市、菟野町、四日市市、鈴鹿市、亀山市と観光を基盤にした交流です。まずは観光で広域的なことができないかということも模索しながら進めているところで

**喜多** 観光というのは、県境も市域も越えて来訪者の皆さんがこの地域



▲惟喬親王1120年御遠忌で講演する市長  
 京都市左京区の大原地区一円で120年ぶりに営まれ、地元住民らでつくる実行委員会が企画しました。市長は「惟喬親王と木地師」をテーマに講演しました。

や経済団体が中心ですけれども、一住民までが何らかの役割を担って全国からみえるお客さんをもてなしていました。本市に目を向けたとき、私たちがもつと市民の皆さんに呼びかけて参画をお願いしなければならなかったのではないかと。観光政策を実現するためには、まだまだ努力が必要だと思えました。市民の皆さんには、本市には自然



まことに愛着と誇り

民の皆さんが買物できるお店や遊べる場所を作りたいですね。やはり娯楽施設がないと、特に若い人たちが夢を持って生活できないと思います。

このまちに生まれて暮らし、生涯を終えるときに「本当に素晴らしいまちでいい人生を過ごしたね。」と実感してもらえらるまちにしたいと考えています。

食文化の中で、大切なことは地産地消だと思っています。本市では、すでに学校給食に使うお米は100%地元産の近江米を、野菜も可能な限り地元産を使わせていただいています。

自分たちの住むまちで自己完結できるようにしたい。市外に行かなくても東近江市で買物したり遊んだりできることが大切です。市

歴史と文化、地理的優位性をはじめ、世界に誇れるものが足元にあることにまず気づいていただきたい。私たち自身が気づかないと自信を持って市外から人を呼べません。一人ひとりに本市を宣伝してもらいたいのですし、東近江市は素晴らしいところだという思いを持っていただけたらうれしいですね。そこが出发点だと思います。そして、役割分担です。行政も人的資源が限られていますので、どうしても地域の皆さん、経済界、なによりも観光協会が動いていただくこともお願いしていかねばなりません。

これからも観光政策の実現に向けてがんばってまいりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。市民の皆さんも健康に留意され、素晴らしい1年となりますようにお祈り申し上げます。

プロフィール

喜多 良道

大学卒業後、家業の酒造業を継ぎ、平成7年に喜多酒造株式会社の代表取締役役に就任。  
 経済界活動は、現在、滋賀県酒造組合 副会長、八日市商工会議所常議員、近江八幡納税協会 副会長を務めるほか、平成28年6月から一般社団法人 東近江市観光協会 会長に就任。

新春対談の様子は東近江スマイルネットで放送します。

- ◆1月1日(祝) 8:00、13:00、20:30
  - 1月2日(月) 10:30、15:30、23:00
  - 1月3日(火) 8:00、13:00、18:00
  - ◆4日(水)～8日(日)も放送します。
- 詳しくは東近江スマイルネットの番組表をご覧ください。